働くルールの確立、労働時間の短縮で雇用の拡大を

なくせ！貧困と格差

第79回 大阪メーデー

財政再建プログラム試案を抜本的に見直し、府民のくらし擁護・財政再建の両立を！

「働くものの団結で、生活と権利を守り、平和と民主主義、中立の日をめざそう」のスローガンのもと、第79回大阪メーデーが、5月1日、大阪市北区の扇町公園をはじめ各地域で開催されました。扇町公園の中央メーデーは市内の労働組合を中心に1万人の労働者が結集しました。

主催者あいさつで植田保二実行委員長（大阪労連議長）は「9条を守れ、派遣法抜本改正、最賃の大幅引き上げ、後期高齢者医療制度、橋下行革・構造改革の見直しなどメーデーを闘い出発点にしよう」と強く訴えました。来賓あいさつで吉井英勝衆議院議員から、自民・公明の国民世論を無視し「数の力」で強行した暫定税率の再議決と4月から実施された後期高齢者医療制度について現状の報告がされ、廃止に向けて奮闘する決意が表明されました。各団体から、派遣労働者の実態や働く権利の確立に向けた闘い、9条の会など憲法改悪を阻止する闘い、最低年金保障制度の実現と後期高齢者医療制度廃止の闘いなど決意表明がされました。

春闘の取り組みの強化、平和運動の推進、後期高齢者医療制度の廃止を含む社会保障の拡充、そして、「財政再建プログラム試案」を抜本的に見直し、府民のくらし擁護と財政再建の両立に広範な府民との共同をひろげよう、などの第79回大阪メーデー宣言（案）が大きな拍手で採択され、3コースにわかれてデモ行進が行われました。

財政再建プログラム試案

反対！かつてない規模でひろがる運動

府民生活を破壊する「財政再建プログラム試案」に対し、多くの府民・団体・地域などからかつてない規模の運動が広がっています。その運動の特徴は、官製団体、市町村行政担当者、保守・無党派など、当局と利用者、関係団体が一体となって取り組んでいることです。

○PTA協議会の名で「35人学級」「学校警備員」署名を2つの教職員労組と小中学校校長会が初めて共同した取り組み

○高校生が「大阪の高校生に笑顔をください会」を結成し、「校則違反として呼び出された生徒が校長から がんばれ」と励まされる。

○3つの障がい者団体が、思想・信条・立場の違いを超えて共同して行動

○健康科学センター存続の会。所長と職員が利用者に訴え、2万筆を越える署名が集まる

○大阪府社会福祉協議会が署名用紙を作成し、各市社協理事会で取り組みを確認

○高齢者施設「街かどデイハウス」の経営者、利用者が共同して行動

○吹田、東大阪など各地域で個人、団体が共同した取り組みが拡大など

運動のすそ野が大きく広がっています。各職場・地域から府民・団体と共同した取り組みを展開しましょう。

府職労第13回 ゴルフ大会

- 日　時　6月14日（土）9時30分集合
- 場　所　橋本カントリークラブ
  和歌山県橋本市隅田町下兵庫
- 参加費　3,000円（賞品代）
- プレー費　14,200円（昼食代別）
- 申込締切　5月30日府職労本部まで

人間らしく生きるために社会と人間の根本を学ぶ！

第159期関西労働学校

6月から府下各地域で関西勤労者教育協会主催の「労働学校」が開講されます。各教室とも毎週1回、全10回で、受講料は12,000円です（テキスト代は別）。
申し込みは本部教宣部までお願いします。

◎水曜森ノ宮・総合教室	6月4日より毎週水曜日
◎土曜森ノ宮・総合教室	6月14日より毎週土曜日
◎働くものの経済学教室	6月2日より毎週月曜日
◎働く女性の教室	6月5日より毎週木曜日
◎日本近現代史教室	6月6日より毎週金曜日
◎堺・総合教室	6月5日より毎週木曜日
◎北河内・労働組合基礎教室	6月6日より毎週金曜日
◎「女性の現代と未来を考える！」河南教室	6月4日より毎週水曜日
◎北摂・総合教室	6月2日より毎週月曜日

人件費削減案がマスコミ報道される

当局に抗議！ ＰＴ案撤回を求める

ＰＴ案で300～400億円もの削減が打ち出され、平均15％もの賃金カットの不安が渦巻く中、13日の新聞紙は「職員で給12～10％削減、「退職金5％削減」などの人件費削減案を大々的に報道しました。

しかし、これほど重大な内容が労働組合に提案も行われない段階でマスコミにリークされることは、これらの既成事実化を図ることに他ならず、労使協議そのものを形骸化するものです。

府職労は13日、当局に対して厳重に抗議するとともに、改めてＰＴ案の撤回を求めました。

当局は、「情報漏えいについては遺憾であり、何を言われても仕方がない。当局がマスコミに情報提供を行ったものではなく、どこから情報が漏れたのかはわからないが、情報管理は徹底したい。」とこたえましたが、府職労は、過去から人件費削減提案の前には必ず当局しか知り得ない情報の「漏えい」が繰り返されており、誠実な労使協議を行う土台が崩されていることを追及するとともに、検討しているすべての情報を明らかにするよう求めました。

当局は、現時点で提案できるまでに査定まで、報道された「削減案」は、賃金カット率から退職金、諸手当のカットまで極めて具体的なものとなって いないとするものの、

手当込み48万、年収760万との報道も、一般職員の実態から乖離した数字であり、意図的に高く見せるものといわざるを得ません。職場でも「誰の給料のことか」と抗議の声が相次いでいます。

また、退職金の削減は給料の後払いという性格からも、当該年度だけの削減という手法も矛盾に満ちたものです。しかも、2年前の「給与構造改革」により既に退職金基礎額が改悪されているのです。

報道によれば、知事の強い意向で削減総額が50億円引き上げられたということですが、人件費削減をアピールしながら府民に痛みを求める手法は過去の「財政再建策」となんら変わりません。

自治体本来の役割を投げ捨て、借金前提の巨大開発と大企業補助金だけが温存される悪循環こそ断ち切るべきです。

府職労は不当な人件費削減提案に反対し、断固としてたたかうものです。

ら、最低でも4％カットの報道。昇給が事実上停止し、減額が続く中高齢層では特に進学、ローン負担が重くのしかかる中、10％削減減死活問題です。報道にある平均43歳、諸

層で4％カットの報道は、賃金カット率が渦巻く中、

「戦争を廃絶するための9条世界宣言」を採択

9条世界会議 in 関西に8000人が参加

「9条を守れ」憲法改悪反対」の世論と運動が大きく広がっています。マスコミの世論調査でも憲法「改正」に反対の声が賛成を上回りました。これは「9条の会」をはじめ私たちの草の根からの運動の反映です。しかし、改憲勢力の巻き返しも強まっています。自民・民主一体の改憲同盟というべき「新憲法制定議員同盟」が新体制を組み、国会内で憲法審査会を動かし、2010年の法施行期限までに国民投票制度の整備と新憲法法案づくりを狙っています。また、一方で、海外派兵恒久法」の制定で憲法改正を待たずとも9条の実質改悪を狙い、この通常国会への法案提出を福田首相が指示するなど憲法圧迫した状況にあります。

こうした情勢のもと、ゴールデンウィークに各地で「9条世界会議」が開催されました。大阪でも5月6日舞洲アリーナで「9条世界会議―関西」が開催され、8000人が参加し、大合唱や講演、対談、ロックバンド・ソウル・フラワー・ユニオンのライブなど終日多彩な催しがおこなわれました。

オープニングのうたごえ合唱は数万人の大合唱で憲法9条の大切さ、平和の尊さをうたいました。開会のあいさつにたった9条世界会議・関西共同代表の松浦悟郎氏（日本カトリック正義と平和協議会会長）は「真の平和は対話や相互理解によってのみ実現する。世代や思想、信条の違いを乗こえて一緒に行動する思い を新たにしよう」と呼びかけました。

新世代からのメッセージでは、5人の青年から9条に対する考えや思い、平和観・考え方の違いを互いに認め合い、理解しあえた場面となりました。

海外ゲストのスピーチでは、元GI日Q職員のベアテ・シロタ・ゴードンさん、国際民主法律協会会長のジェンドラ・シャーマさん、元陸軍大佐・元米国国務省職員のメアリー・アン・ライトさんがスピーチ。憲法草案づくりに関わったゴードンさんが「男女平等」を憲法に書いた経験は感動を与え、「日本の憲法はアメリカの憲法よりいいもの」「いいものを押し付ける人はいませんから、押し付けとはいえない」「日本の憲法9条を世界の国々に宣伝すれば、みんなで手をつないで平和をつくることができる」との訴えに会場から大きな拍手がされました。

学童保育の子どもたちによる歌とけん玉、タレントの小山乃里子さんと精神科医の香山リカさんとの対談、みんなで歌おう「第九で9条」、ソウル・フラワー・ユニオンのライブなどで会場が一体となりました。

集会まとめで、「戦争を廃絶するための9条世界宣言」が採択され9条世界会議は閉会しました。平和をまもるたたかいを大きく広げていくことが求められている情勢です。

ほけんしょ9条の会 けんぽく9条の会 合同総会

◎日　時　5月31日（土）13時30分～16時
◎場　所　大阪グリーン会館　2階ホール
（地下鉄「南森町駅」下車徒歩5分）
◎内　容　講演「未来につなぐいのち」
講師　藤野高明氏
（全日本視覚障害者協議会元会長）
みんなで歌おう　など
◎参加費　300円